明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可（日刊）月曜及祭日の翌日休刊　明治四十三年六月廿四日　（金曜日）　第四百卅八號　（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六二）
發行所　京城新報社

雜錄

漢京より　北韓山生

▲寺內統監の憲兵司令官に補せられたるは、始より人望を覊ふするに足るもの有之候、之れ將軍の手腕優秀なるが爲めなるは云ふ迄も無けれども、一は將軍の屢び憲兵司令官たるを必要とする時節の到來せし一事が、何となく吾等の胸底に精力の充溢するを禁ねしむるにて候、

▲兎に角憲兵の教習訓練は巡查のそれと多少の逕庭あり、職上所の暴徒警察なども固より憲兵にこそ信頼すべけれとやうに思はるれども、從來我等の見聞せる處を以てすれば、吾居留民をせて服せしめんには、今一段の工夫を寺內將軍に囑せざるを得ざる也、

▲警務所報の如く、寺內統監は家族を携帶して來任し、重要勤務を了る迄京城に留るべく決定せし由、此點に於て吾等が寺內子の責任に對して不足を申すべき理由は消滅致し候、

▲頃者我邦を訪はれたるバロダ王は非常に日本の風物を愛好せられたるやに聞及候、我國民の性情は此處に映發したるもの吾等はバロダ王の讃辭を甘受すると同時に、言明し得ざる一種の快感を覺へ候、

▲韓人にして間々邦人を嫌惡するものあるは、畢竟一葦帶水の地に居ながら我邦の風物を目睹し、我國民の性情に親炙せざるが以なる乎、

▲歷史は、吾等が印度に一人のバロダ王在るを發見する頃は、韓國に於て日本を愛好する千万人を發見し得べき筈なるを示し候、然るに今尚頑迷なる韓人の我邦人に危害を加ふるなどは怪しかる疑問にて候、

▲從來千の忠恕も萬の誠實も未だこの疑間を解釋する能はず、浮き世が僅になるならば吾等はバロダ王の心を此國に樹へたきものと思ひ候、

▲京日の發行停止は妙に人の注意を牽き候、世人は統監府の機關紙が如斯憂き目を見せらるゝを不思議とせるならんも、邪魔に相成らば已ひを得ざることならん、

▲龜山釜山理事官は朝鮮日々釜山支局員に退韓を命じたり、事は釜山軌道會

講演

鯨屋伊右衛門　翁の鯨談（八）

（三六）鯨は世界最大の動物　斯の樣に鯨は猟獲もすれば又敵もあるが然し今日世界に生存して居る動物の內では、鯨が一番大きいので一度長七十九尺の長須鯨を一々解剖して調べたら、頭の骨長十九尺六寸重さ五千斤、顎骨長二十一尺重さ千七百斤、胸鰭の重さ五百六十斤、尾鰭の幅十六尺五寸重さ千百斤、赤肉の重さ六万七十斤、脂肪の重さ一万三千四百斤、血の重さ三千三百斤、骨の重さ一万三千四百斤、肩の廻り三十五尺、鼻の端から眼まで十六尺と云ふ割合であつた。

（三七）鯨の壽命　斯な大きな動物の壽命は定めて長いには相違なかろうが、まだ世界では何百年といふ事が明確に分つて居らぬ、去明治二十二年捕鯨船ウイワード號がグリーンランドで巨大な雄鯨を捕獲したが、其鯨鬚の一番長い分が十一英尺八吋あつて肉の中から其の時より三十九年前頃に流行した銛を發見した事がある、又明治二十七年には捕鯨船テラトノヴアー號はランカスタ海峽で最長十二英尺の鯨鬚を有つた大鯨を捕つた所が其體內からボーチスのジアンと云ふ文字の彫り附けてある一本の古い銛が出たそうで、此銛を持つて居た捕鯨船は其時から三十七年前に氷海中で難破したのだから、凡そ四十年近く此の銛は鯨の体內に在つたものと見てよい、斯んな事柄から推察して見ると、モリを受けて逃げ出す位の頭は鯨も大概大きくなつて成年以上に達したものであつたろう、夫れから三四十年も銛を脊負つた儘で生活して居たとすれば、少くとも鯨は百年以上の壽命があるものと決定てよかろう。

（三八）鯨油の用途　夫れで此鯨は外國では油を採るのが目的で、日本では肉を取るのが目的であるから、抹香鯨よりも長須とか座頭とかが喜ばれる、鯨油は日本での使用は、燈用又は除虫用位のもので、外國でも始めは只蠟燭の製造に計り使つて居たものであつたが今日では鐵道、汽船、器械の運轉用に使つたり、鞣皮用に使ふたり、油の內の蠟分を解すとか、ペンキ油の樣なものに使つてゐるから却々需要の廣いものである、横濱の魚油株式會社で臭拔の鯨油が現に製造せられてゐるが一般に我捕鯨會社では鯨肉を賣上げて相當の利益を得て居る處から、餘り製油に力を注いで居らぬ樣である。

（三九）鯨肉の販路　も今日では漁獲の增すに連れて、關西地方は年々擴がつてゐるが、未だ關東では、鯨の罐詰や尾羽毛の瓶詰でも、棚の隅に置かれてゐる樣であるから全然駄目だ、冷藏庫船か何かの仕掛で新しい鯨の肉の味を知らしたら、牛肉の臭を厭がる婦人の多い今日、鯨の正眞の味を覺へたら夫コソ需要は大したもので牛相場肉のを狂はせるのは何でも無い事だろふと思ふ。

（四〇）風流な京の魚　鯨と云へば世間では直ぐに大味な事を聯想してゐるが鯨と云ふ字は魚篇に京の作りであるから、京の魚と云つた方が何だか風流に聞へる、明治十八九年頃馬關の泉樓（小泉義長）と云ふ老人が、京都で京の魚と名を附けて鯨の肉を豆腐の樣に軟かに料理したものを、折詰入にして賣出した事があつた、兎に角鯨は漁場で解剖して日の經ない新らしいものを料理して喰つて見ると、却々軟らかで牛肉と餘り異りのないものである殊に。

（四一）鯨の姙娠中の肉　は餘程軟らかで味が好い、總じて牡よりも牝の方が脂肪が多くて旨い當時の元老中では大隈伯は唐津近傍の佐賀生れ丈けに無類鯨の味をよく知つて居られる樣だ。

（四二）鯨の筋　は尾鰭の兩側から皮肉の間を通つて脇腹迄來てゐる、元は楕圓形、末は平らに爲つて、兩側に三四本づゝ長六七尺以上もある、色は一寸見ると白色で手に觸ると軟骨の樣で隨分强いものである、此生筋百斤を乾上げると四分一止位に成る、昔は打綿弓弦に使つたものだが、今日は支那人が鯨筋と云つて食用品として乾筋百斤八十圓にも買つてゐる、支那人は總じて魚類の膠質などの調理が好で、魚脣、明骨、豕の脚筋などの料理は支那特有で實に巧いもので、彼地で。

文苑

▲春畝公詩存拔萃

●林子平墓前作（十七年甲申）

昇平三百年。舉世高枕眠。
海內饒多士。君獨著先鞭。
日本橋頭水。遠連龍屯天。
邊防豈可忽。牢艦非漁船。
精神凛如見。格言千古傳。
我來弔墳墓。懷古涙潸然。

俳句

●夏五句●　多田千春

よき場所は人のして居る臺觀かな
壺の蚊の鳴くや梅酢の置き處
身に隙の出來て凉しき夕べかな
樂隊の船流れけり夏の川
凉しさや風に追はれて駛る船

講談

大岡政談　越後傳吉　第三回　旭堂南陵講演

女「どうぞれ前樣御飯をた上んなさい、れ給仕はよういたしませんから御勝手に、御覽の通り親一人子一人で稼業をして居りますので、誠に行届きません」傳「何ういたしまして、眞にマア良いところへ泊り合いました、有難うございます」傳吉は幾度も頭を低て食事を終り、直ぐに寢るといふのも毒だから　傳「アノ此方さんは越後屋といふれ名前でございますな」女「ハイ左樣でございます」傳「つかんことを尋ねるやうでございますが先刻から貴女樣のれ言葉を聽て居りますと越後訛りがございますが越後に御緣のあるれ方ぢやらうと私ア思ひますので」女「ハイ、よくれ尋ね下さいました、さういふ貴方も越後のれ方らしい何と號もうれで附けて居ります」傳「ハアさうでございます、越後は何方で」女「ハイ貴方は何方かは存じませんが妾は頸城の高田の在でございます」傳「ヤア何でございますか高田の在で」女「ハイ」傳「うりやア私の近所だが何といふ村でございまして」女「御存じかは存じませんが寶田村で……」傳「アレてりやア不思議なことだ、寶田村、私も寶田村でございます、寶田村の誰方さんでございました」女「オヤマア貴方も寶田村さうでございますか、そりやアよく〳〵緣があります、れ懷かしうございます、それでは一度れ尋ねをして見たいと思ひますが、イヤもう面目次第もございませんが、妾は耻をいはねば理が聞えませぬが、寶田村の大庄屋井上傳左衛門といふ者の家に生れたもので」傳「エッ」思はず傳吉は前へ乘出し、薄燈火の射して居りまする燈火の下に斯う見上げる顔　傳「貴女樣はれはやさんぢやアございませんか」はや「ハイ、はやと申しますが能く御存じで」傳「イヤ知らいで何としませう貴方は伯母さんでムいます」はや「アレ妾をば伯母」傳「マア〳〵コレ私が日頃から目に掛りたいと願ました心が通りまして伯母樣、私アれ前樣の妹のれよしと傳兵衛の間に出來ました傳吉でござります」はや「オヽ其方の傳吉で御座いますよ、其後村の衆かられよしに傳兵衛といふ溫順い養子が出來て傳吉と云ふ子が出來たと聞きましたが、そんなられ前が傳吉ぜんで」傳「ハイ、私ア傳吉でございますがた懷かしうございます、伯母さんでございましたか」はや「マア不思議なところで逢ひました、れ梅や〳〵」梅「れ母ア何だい」はや「一寸此處へれ出で、れ前によく話をして居た妾の妹聟傳兵衛との間に出來た傳吉さん、れ前のためには從兄弟同士だわ」梅「ア、さうかねれ母」はや「これが妾の娘れ梅といふものです、れ前さんとは從兄弟同士で」傳「ア、どうも結構でございますだ、斯うやつて二人とも此所に揃ふて御座るといふのは、こんな嬉しいことはございませぬ、實はお話しをいたしまするが、れ聞及びだか存じませんが井上の家が倒產れまして、これ〳〵の譯で」と傳吉が母のたよしの遺言を落らなくヅッと物語りました　はや「イヤそう聞くと妾は實に穴があつたら入りたいやうだわ、元を糺せば皆妾の淫奔から到頭井上の家もそんなことになつてしまひ、れ前にまでも苦勞を掛けることになりました、妾もな心得違ひから善九郎ざんと手に手を取つて逃げまして、此所や彼所をば徘徊歩き、到頭この鴻の巢へ來て世帶を持つたが、夫婦の間に出來ましたのがこのれ梅、去年の今月今日亭主の善九郎は稼業が賭博打、不圖したことの間違ひから先刻來た樣四郎といふ者と二人で大喧嘩をいたしまして、あの人は助かつて善九郎は殺され、丁度今日はその一週忌になりますか」はや「亭主に死別れて一年の間に二人が斯うやつて心細く煙を立てゝ居るやうな譯なんで」傳「伯母樣、さういふ譯でございましたらどうでがせう」と傳吉は思ひあり氣に膝を進めました

廣告

東京電報

▲天皇陛下行幸 聖上陛下には例年の通り七月十日帝國大學卒業式に行幸仰出さるべし(廿三日)

▲伏見宮御歸京 御渡歐中の伏見宮殿下二十三日朝御歸京遊ばさる各宮殿下各大臣以下出迎頗る盛んなり(同上)

▲獨逸皇族留別 アルブレヒト同妃殿下は留別の御宴を開かせられ我が皇太子同妃兩殿下各皇族殿下を初め桂首相以下各大臣各國大公使宮內省高等官其の招待あらせられたり(二十二日)

▲農產十五億圓 其の筋の調査によれば最近三箇年の重要農產物は十三億八千余萬圓にして之れに副產物を計上すれば約十五億圓に達し農家一戶の所得は二百八十圓となる計算なりと(同上)

▲大藏證券借替 政府は來る二十五日大藏省證券千九百萬圓全部借替を行ふと同時に多少增發の意向あり日本銀行と交涉中也(同上)

▲井上大使發期 南米に特派を命ぜられたる全權大使井上勝之助氏は隨員と共に七月十二日橫濱解纜の香港丸にて出發の事に決定

▲朝香宮妃御懷姙 朝香宮妃允子內親王殿下には御懷姙遊ばさる

▲兵庫縣補缺選擧 兵庫縣代議士櫻井一久氏逝去に付其補缺選擧は八月一日行はるべく候補者として政友會は日下甲子太郎國民黨は現縣會議長桑田久吉氏を推すべく其競爭は非常に激烈なるべし(同上)

▲攝政王に歡迎文 國際新聞協會は箕浦勝人エルロン兩氏の決議を代表し御來遊中の獨逸攝政王に歡迎文を捧呈したるに同大公より感謝の辭ありたり(同上)

▲美術展覽會出品 文部省の美術展覽會には從來經費不足の爲め純正美術品のみ出品を許可したるが明年より經費を增加して應用美術品に至る迄出品を許可すべし(同上)

▲獨大使の園遊會 アルブレヒト同妃兩殿下には獨逸大使ムンム男主催の在留獨逸人並に同國に關係ある日本人等三百余名の歡迎園遊會に成らせられたり(同上)

伯林電報

▲獨皇后の行啓 獨逸皇后は漢堡に向はせられたり之れ獨逸皇帝の容體滿足なるを證するものなり(二十三日)

▲獨帝の御容体 伯林にて獨逸皇帝は健康に就き不安の說行はれつゝありしが昨日ローカルアンツアイゲル紙は手術を行ひたりと報導したり尤も此の報導は公式に否定せられたるが今回腺部疾患に罹り頃の腕の部と同一にして其の容體の真相は秘密にせられ居るなどの報頻々たり(同上)

▲沿海州諸設備 露領沿海州の行政を獨立せしめ新たに長官として知事を置く事となり先づ第一着手として昨年より無線電信布設の計畫を爲しつゝありしが今回カムサツカ、オコツク、ヤークツク迄工事竣工し已に開通を見るに至れり又た通信機關及交通の便利を計る爲め土木工事の計畫あり又一方無線電信を延長せん爲め獨逸技師を派し測量中

▲波斯兩相の掛冠 ペルシャ內務大臣モルトン氏並に農商務大臣アルンムクリーベーン氏は選擧法案に失敗の結果辭職せり(同上)

▲ク島問題の經過 露國はクリート島問題に關し通牒を送りクリート島保護列國の派遣兵召還せしむるの修正を直に復活し保護列國の下に假政府設立せん事を非公式に推奬せり(同上)

韓宮中の收繭式

來る二十五日午後一時より昌德宮內御親蠶室に於て收繭式を擧行せらるゝ由洩れ聞く所によれば春蠶の成績非常に良好にして御喜悅斜めならずとか

副統監來任期

新任副統監山縣伊三郎有吉總務長官宇佐美次官大城戶秘書官佐竹書記官の一行は愈々七月一日馬關にて光濟號に乘船仁川へ直航渡韓の事に決定せる旨公電達せり入京期は來月三四日頃ならん

臨時內閣會議

二十二日石塚邸に於て朴總相代理と石塚參與官と會合の結果朴總相代理は直に閔宮相李學相趙農相の三名に使を馳せ二十三日午前十時より內閣に參集すべきを促がし同時刻より臨時閣議を開けり會議數刻を重ねたる後朴總理代理は閣議の結果を齎らして參內し韓皇に謁見して何事か上奏裁可を乞ひ退出せりと

●趙南升事件の擬律

趙南升事件は屢次所報の如く連類趙鏞及南廷奎と共に警視廳第三課に於て訊問進行中にて既に主犯の勳書僞造事件に就ては擧證歷然たるが他に取調を要するものある爲め愈々起訴せらるゝまでには尙ほ幾分の時日を要すべしと而して之に關する法律の適用如何を聞くに韓國の刑法よりすれば勳書の僞造は死刑に相當なりと雖も現在太皇帝には既に主權者に非ず隨て刑法の所謂勳書の要素を具備せざるのみならず該事件は太皇帝御自身の財產に關し主權的性質を有せざれば唯だ單に私文書僞造の罪を以て律よりの外あらざるべし尙ほ之に伴ふ私訴に就き面白き結果を呈すべし卽ち趙南升等は私文書僞造により刑法上當然其處分を受けるも財產上損害を蒙れる太皇帝は其恢復を何れにか求めざるべからず此場合に於て太皇帝は趙南升に向つて求めんか或は又韓美電氣會社長コールブラン氏に對し之を要求せんかに就き各々其理由あるも要は太皇帝の代理と稱して提示せる勳書なるものが眞僞の如何に拘はらず不當然注意せざるべからざる注意を怠りたる爲め其損害を釀起せる事實證明せらるゝ以上はコールブラ氏は其損害賠償の責を負擔せざるべからず而して同氏に之を反駁するの理由在りや否やは疑問なり故に太皇帝は同氏に對し之を要訴し同時に第三者たる日韓瓦斯電氣株式會社がコールブラン氏に對する未拂金に對し差押を爲し其回復を求むべきなりと孰れ該事件の起訴と共に必ず起るべき問題なりと云ふ

●海事會議諸問事項

目下關稅局に於て開會中なる海事協會に於ける諮問事項は左の如し

一、登錄及檢査の狀況並經過
二、登錄及檢査法規適用上の便否
三、船舶法規實施に伴ひ海運業者及一般海運に及ぼす影響
四、法令の普及に關し一般に採りたる措置及成績
五、受檢船舶の成績
六、稅關所在地外に於ける船舶所有者に關する調査狀況
七、一般申請書提出の狀況
八、代書代願人等の有無及之が許否の意見
九、海員の狀況及之に對する將來の保護獎勵及取締に關する意見
十、稅關支署及監視署をして取扱はしむるを以て便宜なりと認むる事項の有無
十一、統監府囑託員の理事廳に於ける海事々務處理の振合
十二、同上陸上機關に關する事務の種類及程度並處理の振合
十三、船舶國籍證書、檢査證書類を申請者に郵送するの途を開くの可否
十四、水路嚮導に關する地方慣習及其の狀況
十五、沿岸航路に對する航路標識狀況
十六、造船及鐵工の狀況

●土地調査と地方民

平壤財務監督局主事の一行は去る十三日より黃海道海州郡新兵面國有地調査に着手したるに同地韓民約八十名は附近の山林に集合し該土地を國有地として調査するは不當なりとて不穩の擧動あるより當時保護として出張中の龍湖島分遣所員は早くも其の主謀者數名を呼出し諭示して散會せり然るに翌日又々同地附近に四五十名の民集合せしも事なく散會せりと

●未勘金處分の經過

度支部にて目下整理中なる未勘金の處分は本年中に終了の筈なるが總金高約三百萬圓にして其の支拂方法は月賦又は年賦を以てし長きは八年に及ぶものなり度支部にては穩當なる手段に於て支拂はしむる方針なりと云ふ

●石塚邸の臨時會議

石塚參與官は二十三日午前十時より松井警務局長倉富俵の兩參與官其他の參與官又は代理を自邸に集め何事か重要問題を提示し臨時會議を開けり

●國有地調査と珍島

國有地調査に關し珍島郡都草民は從來民有なりし嶋地を俄かに國有となさしむるは嶋民の死活に關する重大事件なりと此際代表者を選びて上京せしめ訴願せんとするものなりと

●土地調査と打合會

土地調査に就き打合の爲め昨二十三日內部より平渡課長初め其他佐藤、林田橫山の事務官等土地調査局に出張凝議する處ありたりと

●石塚參與官倘引籠

石塚參與官は微恙の爲め引續き官邸に引籠り公文書類は病床に於て裁閱せるが時節柄頗る多忙の模樣にて松井警務局長其他多數官人の訪問ありしといふ

●新聞發刊の不認可

忠淸南道公州在留の田內武なる日本人より新聞發刊の出願をなしたるも當該理事廳は認可を與へざりしと云ふ

●川口事務官招待

當地大分縣人會は同縣事務官川口彥次氏及水產課長羽田野正氏が滿韓の生產其他に關し視察の途次目下滯京中を機とし兩氏の歡迎會を一昨二十二日午後六時より京城ホテルに於て開催せしが出席者數十名古城會長開會の辭を述べ川口事務官の答辭あり酒宴に移りてより岩本、酒井、和田三氏の希望演說あり十時散會せりと

●記者團の送別會

京城記者團は今回京城日報を退社したる原田豐次郎氏の爲め廿三日花月に送別宴を催ふせり

●繁榮同盟會總會

京城繁榮同盟會にては來る二十六日大和町三丁目梅之家に於て定式總會を開催する由なり

手形交換所の開始

當地銀行業者間に豫てより手形交換所設立の計畫ありしことは屢報道せる處なるが此程該交換所規則も脫稿し同業者の連印を得たれば愈々來る七月一日より之を開始する事に決定せりといふ今其規則の內容に付大要を記さんに(一)組合銀行は韓國銀行を始めとし日本側に於ては第一、十八、百三十韓國側に於ては天一、漢城、韓一、農工の都合八行より成り(二)皆な韓國銀行に當座預金を有するの義務あるものとし毎日交換方を韓國銀行內に設けある事務所に出張せしめ以て其請入れたる他行の手形小切手と他行の請入れたる自行の手形小切手とを決濟し其殘高は更に韓國銀行に於ける其當座預金を以て決濟するものにして(三)交換は毎日正確に午前十一時半より之を開始し(四)交換日の翌日午後三時迄に交換したる手形小切手が入金濟とならざる場合には其手形小切手の振出人の住所姓名職業等を重なる新聞紙に廣告する事とし(五)毎年二回定時總會を開くの外必要ある時は臨時總會をも開き(六)役員には委員監事、書記ありて委員には韓國銀行、第一銀行及漢湖農工銀行當選し韓國銀行を以て委員長とし監事には橫山韓銀營業課長當分の內其任に當るべしと因に二十二日組合銀行は交換手を韓國銀行に出張せしめ試驗的に交換を爲したるに成績甚だ良好なりしといふ

間島將來の富力

現時間島の富力は之を我が北海道に比較する時は諸事尙原始の狀態に在り土地の如きも殆んど無價に等しく剩さへ可耕地の未だ勞働を加へざるもの現耕地の約五倍以上にも達する有樣なるを以て一方哩の富力は四千四百六十一圓餘に過ぎず北海道の一方哩七千八百八十九圓に比すれば其の及ばざる遠しと雖も將來可耕地の大部が開拓さるゝと共に鐵道の貫通を見ば其富力は驚くべき增進を來すものあるべく此地區に於て優に二個師團の兵力を給養するに足るべしと云へり因に現今全面積に對する居住民の密度は一方哩十二人强にて全島の富を類別すれば土地二千四百三十五萬八千五十圓、家畜其他の動物二百五十八萬一千八百八十圓、家屋其他の建築物二百四十萬八千百圓、貨幣五十五万四千二百四十圓、諸貨物商品百四十九萬三千三百圓、家財百四十二萬七千二百九十八圓、電信二萬千二百圓等其の主なるものなりと

民團合併と民長

京龍兩民團の合併は愈々七月上旬を以て實行せらるべきが之に伴ふ各種の問題中民長問題は最も重大なるものゝ一に數へらるゝが某有力なる議員中にも現任民長に慊らざる傾向ありて既に過去半ヶ年間の經驗に徵するも重荷に過ぐるの感ありしに更に龍山を合併したる後の民團統治者として果して如何あるべきかを氣遣ひ暗に更迭の必要を仄めかし居れり然れども多くの議員は其必要は認めながら既に一旦推薦したる以上進むで之を叫ぶ能はず亦適任者の他に發見し難き事情あればとて躊躇し居れば合併後の民長は[illegible]て依然古城氏留任すべしといふ

●山根囑託講話盛況

山根衞生顧問は既報の如く廿三日一番列車にて下仁したるが官民有志の出迎を受けて仁川水道配水池を視察し[illegible]に於て橋本副理事官樋口助役其他十餘名の官民と共に晝餐を喫し午後一時より民役所樓上に於て夏季衞生に關する講話を爲したるが市民の來聽者頗る多く同三時よりは韓人に關し同じく講話會を開き夕刻歸京したり

●交換所規則中訂正

別項手形交換所愈開始と題する通信中第四項翌日午後三時迄に交換したる手形小切手の下が「入金濟より其手形小切手の」迄の二十字を削り「にして不渡となりたる時は其」に訂正す

●京元線踏査團歡迎

元山毎日新聞社主催の京元線踏査團二十名は二十七日京城へ到着する由なれば京元、三南鐵道期成會、京城商業會議所聯合して歡迎會を開き猶は將來に於ける打合をなすべしと云ふ

●明石司令官の登廳

新任駐韓憲兵司令官明石少將は二十二日を以て事務の引繼を終りたるを以て二十三日より司令部へ登廳せり

●榊原參謀長の登廳

新任韓國駐剳軍參謀長榊原昇造氏は廿三日龍山なる軍司令部に登廳將校以下に新任の挨拶を爲したり

●店員獎勵規程認可

曩きに申請中なりし在京城居留民店員獎勵規程は二十一日の日附にて今般認可されしを以て不日獎勵法施行すべし

●商業會議所臨時會

京城日人商業會議所議員は二十三日午後七時同樓上に於て臨時會を開く筈

●京城居留民會延期

京城民會は廿三日開會の筈を都合により廿四日午後七時より開く事になれり

●水野參事官の入京

水野參事官は既程の巡視を畢へ廿三日夜開城着廿四日午後七時京城着の筈

●千葉万壽氏入京 元山稅關技師の同氏は二十二日入京三ヶ月旅館に投宿

●兒玉中尉の入京 步兵中尉兒玉夫七氏は二十二日入京九州旅館に投宿す

▲平壤通信 (廿二日發)

▲議員補缺選擧 當地民團議員六名の補缺選擧は來る二十五日執行する事に決したるが今回の補缺議員は其任期來る十月迄にて僅かに四箇月の任期なるに不拘頗る競爭者多數なる見込にて今日までの處未だ公然なる競爭運動なきも裏面にての競爭運動は意外に烈しく候補者は何れも多額の運動費を準備し居れり

▲電燈問題 當地の電燈問題は既報の通り新に若松理事官を調停者として三派の合同を計畫しつゝありしが之に對し日韓瓦斯會社よりは平壤居留民の意嚮を察し且つ電燈の成立を容易ならしめんが爲め今回は三派の合同に加はらず厚意上事業上に於ける同社の出願權を放棄する事となしたるを以て他の二派に於ても大に同社の意を多とし茲に平壤電燈事業は山本山次郎派及び黃穀商會の兩派合同して成立せしめん事となり目下成立條件につき互に協議調査中なるが聞く處によれば最初其の資本金を十五萬圓と爲す筈なりしを若し三派合同の事業とせば三十万圓の資本金とし市內電鐵をも起業すべしとの意見なりしに今回日韓瓦斯會社の手を引きたるにより二派合同とせば二十五萬圓の資本金として成立せん事の至當なるを唱へ略ぼ之れに決定し居れるが二十五万圓の資本金は之れを株式となし卽ち一株五十圓にして五千株となし內二千五百株は發起人側にて引受け殘り二千五百株を一般に募集し四分の一拂込となす事となれり而して右は一兩日中發起人會に於て決定され直ちに認可の申請を爲す順序なり

▲作況と金融 一般に農作物の饑饉を豫想し居たる當地方の作況は本月に入りて數度の降雨により著しく好況となり今日の處にては米六分作より八分作位までの豫想にて又雜穀も米に劣らぬ作柄となりたれば隨て當地の金融も先月末頃より漸次活潑となりつゝあり但し本年は最初の旱魃豫想にて例年活動すべき五月の金融甚だ面白からざりし模樣あり昨今の活況は例年に比して頗る時期遲れの方なりと云ふ

▲金採掘の盛況 本年一月より六月まで韓國銀行當地支店にて取扱ひたる金の採出は七十二貫の豫想なりし處朔寧地方の採金額に激增したる爲め既に去る五月末の實數量百二十六貫に上り尙ほ益々好況に向ひつゝあれば六月末までには實に豫定額の二倍卽ち百四五十貫に上るべし

龍山通信 (廿三日支局報)

▲新市街の發展 不景氣の何のと云へど龍山は地勢上自然に發展すべき理由あり新市街には何時の間にやら新築家屋殖ゑて空地の狹めらるゝが目に着くなり其內殊に目立てるは伊藤祐侃醫業太郎兩氏の經營に係る龍山停車場前の家屋建築工事にして大分捗取りたるが如し落成の上は此處にも殷賑なる街區を現出すべし又舊市街も最も空屋多かりし元町四丁目通りも日毎に久しく閉られたるも開けらるゝを見る

▲埋築會社現狀 河岸埋築の有利なるは龍山の爲めにも會社其のものの爲めにも明瞭なる事實ながら今日の狀態にては龍山居留民は一向氣乘りのせぬらしく此頃にては噂さだに聞かざる程にして既報の如く嚮きに同會社が民團に補助方を請願し民團理事者は之れを民會に諮りたるも民會は「尤も」を附して一時見合せと成りたる爲め會社にても稍持て餘しの氣味なりとか

▲監獄署の工事 地均し工事も大分捗りたる同敷地は龍山居留民の大神宮を奉祭せんとして果さゞりし處なり丘の上の北に森林を控へて眺望好き場所なるが丘一つを隔てゝ避病院あり之れが爲め龍山の入口なりといふ始末要するに龍山居留民は何うなりても可しと云はんばかりの有樣なり因に居留民の或者は天變地異ありて工事の未來永劫竣成せざれかしと祈り居れり

▲治外法權▼

邦人は常に韓人の恐を笑つて居る、併し邦人が韓人に比してドレ程優つて居るかを證據立てられた例しが無い、思ふに邦人……在韓邦人中個人的生存競爭上韓人に勝ち得るものが幾人あるかは疑問だ▲今の處邦人が韓人に對して威張り得るのは宗主國民と云ふ箔が附いてるからだ、トコロが此箔が今の處イツまで持てるかは疑問だ、否疑問でなくて合併が出來たら同時に落ちるのが運命だ、コレを思ふたら宗主國民だからと云ふて今日に於て法螺許り吹いて居るのは愚だ▲御用紙とは云へ同業の京城日報が發行停止になつたのは氣の毒な事で記者は一日も早く解停にならんことを望んで居る、此災難中に原田主筆が病氣の故を以て退社せられたのは同社にとつて打擊の上の打擊で何とも氣の毒の至に堪ぬ▲ソモ京城日報が今日の如き悲境に陷つたのは現經營者たる大岡や原田の罪ではない亦前經營者たる伊東や服部の罪でもない、實の處は其罪全く統監府にありだ▲始め統監府に機關紙創設の議起るや故伊藤公は朝比奈碌堂を起して一切の任に當らしめんとした、當時事情あつて碌堂の話は沙汰止みとなつた、ソウコウする中時日は切迫して他に適任者を得ぬ爲め伊東祐侃に托することになつた▲當時識あり、御用紙の社長若しくは主筆たらん者は其學力識見に於て苟くも總務長官に匹敵するものでなければならぬ、統監政治を說くに就いて一々當局者の敎を要する者ではならぬと、併し不幸にして此議は成立たずして止んだ、碌堂が手を引いたのも此邊の事情からだ、其後の經過は世に現はれた通りだ▲大岡乃至伊東の罪しきに非ず、御用紙の任は荷が彼等に勝過ぎたのだ、倒れた馬より倒した荷主の惡いのは萬々の事だ▲ルーズベルトに向ひ獅子の爪を與れとか象の子を與れとか、或は二百五十封度の蛇を與れとか迫るものが澤山あるさうだ、英雄になるのもウルサイものだ。

ハイカラな戀占

▽東京女子大學で流行
▽御手輕簡易な戀占ひ

▲「目白出よ」と云へば嫁にするにも一寸首を捻らざるを得ずと取沙汰せらるゝ東京は目白女子大學の數多き寄宿舍にては此頃各寮に御座る御粗末な姫御前達は消燈後又は雨の日の徒然などに此れ互の廂髪を突き合せては

▲雜記帳鉛筆を取出しヒソ〳〵と四邊を憚る小聲にて成る戀だの成らぬ戀だのと何やら騷いで居る相だ此れ果して何をして居るのかと同校の一卒業生に訊ねて見ると新式の占だワと得意の色を頰に浮べる此の占は先頃も一寸流行したことがあつたが昨今又一層の流行を來したものだ相であるが其方法は目白だけに却々凝つたものである

▲其占の方法は自分の姓名と意中の人の姓名とを二列に羅馬字で列べて書く其の二つの羅馬字を照して同一文字を互に消合つて殘る文字の數を算へ男の方が幾つ女の方が幾つと答を出し（一は何、二は何と七まで定めがある）若し其答が七を超過するときは又一に歸る（即ち殘數九ならば二）のである爰に一例を示すと伊藤マツなる者と田中清なるものとの心中を占ひ其行末を占はうとすると前記の方法で行つて試るに双方の通有のエー、テー、アイオー等を相殺すると女の方の殘數二字男の夫れは六字となる、その

▲結果判じ方は什麼するかと云ふと夫れは斯うである、一はヂスライク（嫌な人）二はフレンド（通常朋友位ならばと云ふ意）三はエーアシエル（勉の片思ひ）四をラヴ（戀）五はキャッチ（成立既に出來て居る意）六はアンライク（イケ好かない人）七はマレーヂ（結婚）と定めあれば殘數を之れに充て始めて判斷するのである是に依つて此れを觀ると前記れまつさんは清君を朋友として位に思つて居るが清君はまつ子をイケ好かない女だと思つてることになるのでまつ子たるものは悄然としてアラ酷いワ人をイケ好かないなんて隨分だワと恐痴る事になる併し是れが若し自分（女）が四で相手の男が七とでも出ようものなら自分は戀男と結婚となる譯けだから何時の間にか覺へた取つときの鼠鳴きかなんかでアラ一寸大變よ、嬉しいワ、何？ツて非常な頗る最も甚だ就中猛烈に激烈に上等な特別な好い占よと崩し榮へもしない相格を崩して嬉しがると云ふ騷ぎである、流石に女子の最高學府と威張つてゐる處だけに高尚な淡路島通ふ千鳥の戀の辻占などの比では無いのだ。

秘園の大相撲

▽來賓出入門の變更

東京大相撲の一行は愈々廿三日着京城に乘込み二十四日上覽相撲を秘園に於て行はるべきに付き閔宮相は日本宮廷式の左の案內狀を諸官吏其他へ發送したり

宮內府大臣は皇帝陛下の旨意を奉承して何某閣下（或は座下）を來る廿四日午後一時昌德宮秘園に於て開催する相撲觀覽會に招待す
隆熙四年六月廿日

注意
一、服裝は高帽厚服若くは稽古套同相當服たること
一、入門の時は招待券を接待係に示さるゝこと
一、出入は宣仁門よりせらるゝこと
一、同日雨天ならば順延のこと

因に來賓出入口を各招待狀には前記の通り宣仁門と記されしも右は都合により月覲門（宣仁門より二つ目）に變更せる旨宮內府より特に通知ありたれば受招待諸君は豫め承知せらるべし而して其の取組は

本日の上覽相撲に登場する
東方横綱 常陸山谷右衛門

本日の上覽相撲に登場する
西方横綱 梅ケ谷藤太郎

常陸山 梅ケ谷	駒ケ嶽 大の川
碇潟 土州山	國見山 朝汐
八島山 梅ノ花	南國 大湊
佐の川 大蛇潟	龍ケ崎 凰
日本海 八甲山	黒瀬川 近江富士
玉ケ崎 勢力	紫雲龍 石山
八ツ尾 金の花	佐賀海 男島
	雷ケ浦 駒勇
	國見野 玉の川
	花房（賀峰四 刈藻川）大國の淀

女房斬りの判決 言渡

▽北米倉町東雲樓の出來事

兵庫縣神戸市兵庫羽坂通り二丁目平民靴商吉田松太郎（三二）は水株むつゑと夫婦となり長女初子を擧げ乍らむつゑは嫌氣を出し本年三月吉田の不在に乘じ初子を連れ無斷家出渡韓し當地北米倉町料理屋東雲樓に妹ちよが嫁入り居るより同宅に來り妹ちよに補助し居りしに吉田は此の事を風の便りに聞き知り大に憤り本年四月二十四日入京同日午後十時頃同樓に赴きしにむつゑは二階に於て客と乳繰り合ひ居るより吉田は憤懣に堪へずむつゑを殺害し其鬱憤を晴さんと決し階上に驅せ上りしにむつゑが座敷內より出で來りたるより其の手を捕へ無情を詰責しむつゑが階下に逃れんと過て顚倒したるを携へ居りたる短刀を以て背後より斬り付重傷を負せちよの阻止を受け殺害の目的を遂ぐるに到らざりし事件は爾來京城地方裁判所に於て殺人未遂として審理中の處二十二日懲役三年に處せらる

獸肉食つた應報

▽奇篤なる久保田捨松

福井縣丹生郡宮崎村字須尾前田俊三（三九）は渡韓以來最初木挽職に從事し居りしが身體弱き爲め勞働に堪へ兼ね某洗濯屋の番頭に雇れ注文取りに從事中淫賣屋通ひを覺へ放蕩の揚句遂に解雇せられ糊口に苦しみ其上淫賣屋で頂戴した梅毒は日に增し重症になり行き苦痛に堪ね兼ね居りし或日本町八丁目花園町入口角の藥店にて事情を話し治療の方法を聞きしに入院でも爲さゞれば全治の見込みなく又大韓醫院には無料施療の方法あれど右は警察の證明と保證人とを要すとの事なりしも知巳とて一人もなければと身の不幸を話し居りしを花園町三番戶ノ一久保田捨松之を傍より聞き大に同情を表し保證人となり其手續運動してやらんと手續せしに銅峴分署に於て久保田を呼出し事實を聞きしに何等關係なき者なるも同情に堪へ兼ね保證人となり死亡等の事もありし時は一切引受くる旨誓ひし由なるが近頃奇特な事と云ふべし

恐ろしき婆の一念

▽戀の恨みは借金で返す

花園町料理屋松月樓同居大工職藤本利兵衛（六〇）と云ふは過頃迄大和町二丁目飲食店花二三亭主人軒原はなの色男として同樓中はなは片時も男なくして暮せぬと云ふ位な多情女利兵衛は人世五十年を十年丈け盜んだ六十男なれば遂に花と戰ふ事の實力を失ひたるより逃げ出し松月樓に同居するに至りしものなるが利兵衛花二三亭に來る以前龍山に居住せしことあり其頃龍山櫻町一丁目十四番戶雜貨商內藤桂助方より食料雜貨を借り其の代金十六圓餘を其儘にし來京後花二三亭に色男として入り込みしが一方內藤にては其の住所を搜せしも一向不明なりしに今般松月樓に居住する事風の便りに聞き知り同樓に至り面會督促せしに當分支拂出來ぬと云ふに付證書なりと差入れる樣にと申入れたるも證書も差入出來ぬとて應せざるに付內藤は口頭を以て其筋に說諭を願出たるにぞ可然解決す可き旨說諭せし由なるが六七箇月も他所不明なりしを今日に至り突然松月樓に居る事判明せしは花二三亭のたはな婆が利兵衛にまじなひ文字書く等せし由なれば恨み返しに通知せしにはなきかと附近の評判

女振り

森山美夫氏夫人
森山むめ子

日韓書房主人森山美夫君は東京の同文館主森山章之助君の令弟で明治十四年八月の出生、夫人むめ子は東京早稻田鶴卷町の產で確か麴町四番町の三田輪女學校の御出身と思ふ、天の成せる麗質は實際のれ歲よりは何んでも四歲五歲若く見せてるが本統を云へば美夫君同樣明治十四年十二月の御出生で丁三十で御座つしやるので流石千里眼を以て任ずる女振り子も此れ以上紹介する事實を持たぬ、そ多く奧深く垂れ籠めて居られるので安心れ爲せ申して置いて極く新しい所を書き列べて目に掛ける、むめ子さんは御承知の通り少々れ御足が惡い、と云ふのは年來の痼疾僂麻質斯に惱まれて居る爲めで御當人及美夫君は云ふに及ばず親戚知巳の方々も酷く心配して諸名醫の診療を受けられたが全治せぬ、茲に於て慨はぬ時の神賴みの格で或る人の勸むる儘に試に天理教を信じられた、然るに不思議にも輕快に赴いた、散々手甲擦つた病氣だけに有難さも一層で通り一遍の信仰は變じて勇猛精進の渴仰となつた、爾來夜も晝も救け王への天と地を象つて御座る、驚いたのは美夫君病氣が治ると云ふのだから決して止めはせぬ、止めはせぬが切めて晝丈けは遠慮して欲しい、イヤ惡いとは云はぬ晝丈けの遠慮だよ余り喙られると閉口するからとある、夫人も此の抗議には服從して居られる、美夫君と二人並へて見るとれ雛樣の御夫婦だ、長女は六歲のはつ子さん、目下妊娠八ケ月だが此れは男のれ子さんであらふ。

醜公吏の辯護士

▽七月上旬公判開廷

本月九日豫審終決となりたる京城民團醜吏末廣幸作外八人の横領罪に關する辯護士は木尾、莊子、岡田、中村、大崎、岩本の六氏に決定し七月上旬塚原判事裁判長となり菱谷檢事立會公判開廷

●壽座の三遊亭金馬

▽一睡軒花堂の尺八

三遊亭金馬一座の東京落語は一昨日より壽座に開演した、落語、常盤津、講釋、尺八、曲藝、其上喜劇一幕を加へての藝づくし肩の凝らざる夏向きに持て來いである、金遊齋のゆび影繪は前座の小供喜ばしとして次に小つまの常盤津は歌よりも三味線の方遙かに優れて感服せしめた、市馬は落語よりも歌を以て勝り、金勝に至ると大分話しが聞き物となつて居る、少年藝人金登喜の香曲物まね其可愛らしさに同情を引き踊りは中々小動きがする彼れも又斯界の麒麟兒である花圓遊の講談一席も座を締めて調和宜ろしく、龜次郎の曲藝は流石に甘い確かに呼物の一つである、一睡軒花堂の尺八は既に數回聽いた事があるが追々圓熟して來るようだ殊に義太夫の一曲は大受けである次に金馬の人情落語泣かして笑はせると云ふ巧妙なる話しロシックと落附いた態度流石に其打の貫祿が備はつて居る、大切りの喜劇は何れも器用な藝人揃ひの事とて實に抱腹絕倒せしむるものがある兎に角初日匆々に九分通りの大入とは結構千萬併し一等席以上の滿員に引替へ特等席の比較的空きが多かつたのは値段が高過ぎる爲めには非らざるか請元は一考すべきだ（△生）

●横着なる洋服屋

龍山漢江通り三丁目洋服屋大和屋事吉田才次郎は去五月中牙山に到り佐藤某及韓人尹滋賢なる者より洋服の注文を受け手附けとして佐藤よりは八圓尹よりは二圓を受取り五月末日迄には注文の服を送附すべく約束し別に佐藤より洗濯方を依頼されたる古服一着を受取り同地を引揚げしが其後約定の期日過ぎても大和屋よりは何の音沙汰も無きより佐藤は再三督促せしも一回の返事だも爲さゞるにぞ佐藤は龍山署に宛て說諭願を提出せしが大和屋は他にも同樣の所行有るやにて目下龍山署に於て取調べ中也

●石油鑵を轉覆す

本町八丁目二十五番戶佐谷富造長男政夫（九）大和町三丁目中村音吉長男桂三（七）の二名二十二日午後三時東部盤松洞石油行商人金銀石（三六）が八丁目某宅に於て石油鑵を置きてランプ掃除中遊戯に氣を取られ石油鑵（代一圓二十二錢）を路上に轉覆したるより銀石は筆洞分遣所に[illegible]屆出しに付親を呼出し相當代金を支拂はしめ示談事濟み

●強姦犯人の處刑

京畿道廣州郡九州面吉里洞李熙俊（四〇）は本年三月七日同面典權洞金召史が附近の山中を通行せる際他人の居らざるを奇貨とし同人を姦淫せんとしたるも應ぜざるより强制的に該山中の墓地に押倒し强姦したる廉にて京城地方裁判所に於て審理中の處二十二日懲役五年に處せらる

●慾張つた食客的

中部司僕寺洞宮內府主馬課附近居住金禮均の妹金姓女（一七）と食客洪德標（二〇）が誘拐行衞不明の爲め銅峴分署に搜查願出せりと

前頭 黒瀬川と梅の花

▲附、足立山改め若島

▲黒瀬川浪之助は越中氷見町の生れで本年二十六歲友綱部屋で太刀山の弟子である、身長六尺體量廿七貫の巨軀を有し其取口も左四つの吊出しを得意とし大力士の俤がある、併しまだ〳〵角力に若い處があつて時々ヘマを演る、餘り取口が堂々たるに引替へ力是れに伴はざる爲め入幕以來成績面白からず前頭の十一枚目とは聊か物足らぬ樣な感じがする努めて倦まずんば師匠太刀山の後を襲へぬとも限らぬ、又同力士は頗る多藝で三味線を彈き歌も唄ひ玉突きも上手其上中々の好男子であるのが或は同人の進境を妨げるのかも知れぬ。

▲梅の花市五郎は越前福井の產で梅ケ谷の秘藏弟子、年は二十四歲で東西切つての色男である、三十六年五月初土俵を踏んで以來進境著しく體格力量共に見る可きものあり早くより梅ケ谷の後繼者として未來の横綱を以て目されて居た、然るに美貌が其身の不幸となり幕下から幕に入つた頃より女難多く場所毎に不成績を重ね今や再び幕下に落ちんとする有樣で師匠の梅ケ谷も漸く彼れを見離さんとして居る、併し元來恐物に非らざる彼れは近來稍々悟る處があつたか去る五月場所は不成績ではあつたが其取口は中々凄まじかつた、此有樣で稽古に勉强し、女難を避けたら三役に進むのは敢へて難い事ではない奴漢それ勉めよや。

▲右の外幕內力士として大碇、八島山、龍ケ崎、錣川外に新進の大蛇潟洋行戻りの近江富士等あれど今は之れを略し最後に足立山改め若島を紹介せん彼れは友綱部屋に屬し梅ケ谷に劣らざる巨大なる體格と力量は天晴れ未來の横綱たる資格を有し今頃は三役位に進んで居る者を幕下に進みて以來病氣に罹り既に三ケ年の久敷き藥餌に親み全く稽古を廢し居たるが神佛に祈念の結果病氣稍々快復し足立山を若島と改め去る五月場所は三段目と取組み好成績なりしが愈々病氣全快せばまだ二十三の青年大成期して待つ可きならん、今回の巡業も無論稽古なしで割だけを取るならん（終り）

初日 大相撲の取組

京城大相撲初日重なる取組左の如し

駒男 國見野	雷ケ浦 玉の川	石山 八甲山
日本海 佐賀海	紫雲龍 男島	近江富士 梅の花
佐の川 錣川	八島山 大蛇潟	南國 黒瀬川
龍ケ崎 玉椿	碇潟 朝汐	大湊 國見山
駒ケ嶽 土州山	大の川 梅ケ谷	常陸山 凰

目と耳

▲壽座 三遊亭金馬一行二十四日の演藝番組は左の如くなるが尙ほ大切喜劇智惠比べは座員總出にて演ずる由
權助芝居（金平）指の寫し繪獅子の曲（金遊齋）常盤津三世相錦文章（小つま）銚子の替り目（市馬）天災（金勝）音曲手踊り（金登喜）義士傳之內堀部安兵衛高田之馬場（花圓遊）曲藝空中自在のナイフ（龜次郎）笑ひ茸（金馬）

▲京城座 二十四日（三十二回目）の出し狂言は「刑事の功績」にして重なる配役左の如くなりと云ふ
刑事山本（浮田）母親れ石（瀬川）金太（五味）署長桐田（美崎）妹れ花（堀江）妹れ君（桂木）本田剛三（川崎）遊人島造（高島）

今日の運勢

六月廿四日舊五月十七日 三碧先負庚中溝△一白●旅行行商探險調査を行ふに吉婚姻共同組合の事業に凶△二黑●新事及建築見合せの事貸借保證連盟尤も意を用ゆべし△三碧●葛藤紛紜起り易し音信異事を報ずるあり△四綠●利益ある日なり交際上閒違起り易し△五黃●建築動土に吉其他不事の日 新事旅行貸借委託に忌む△六白●新事及旅行轉任に凶火氣に關する業務に吉△七赤●他言に動かされ損害を見る事あり建築農業に吉△八白●疎妄機を失ふ事あり金談取引貸借談議効なし△九紫●反覆操返して效を奏するあり入學門婚姻養子旅行に吉

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目
電話一千四百〇九番
ふり徳商店

廣告

一鴨綠江松材現木
長サ八尺五寸以上二間半
一尺五寸角以上二尺迄
右木材多數所有致し居候に付特別安價に賣却仕候間御望の方は御來談被下度願上候
京城旭町三丁目
建築業 柴田芝六
電話五百六十八番

表具部開業
襖額屏風天井壁張及表裝一切並書畫の需用に應す
旭町三丁目三日月湯隣
柴田表具部
主任 眞鍋光島小久太雄郞
電話(五六八)

足袋 龍 醬油
麻裏和洋酒雜貨 販賣
龍山元町三丁目(電話三二九番)
中谷商店

京城曙町(電話一二八七番)
統監府御用
宮内府御用
軸物表裝
金銀屏風
額面
壁張
石川表具店

代書業
京城裁判所前向
池田仁吾

民刑事件鑑定辯護
辯護士 檢事 豐田法律事務所
京城鐘路裁判所向

高等牛乳
滋養 强壯
韓國畜產株式會社
南大門外 電話八八番

●朝鮮唯一の土產夏季滋養●夏痩の人は必ず飲め
賜東宮殿下御買上之榮
清國領事館御買上品
韓國京城博覽會褒狀受領
滋養強壯 人參飴
世界第一等の滋養品 牛乳鷄卵に優る効數倍
京城本町二丁目
元祖發賣元 井口順生堂藥房
本品は滋養劑として東洋第一と稱せらるゝ朝鮮人參を以て精製したる物にて朝鮮唯一の御土產品なり本品は殊に夏季の强壯劑として頗る適切有効なるを以て何卒一度御試用の上御好評を仰ぐ
◎特約販賣店は京城、釜山、仁川、平壤、開城、龍山、鎭南浦、元山及各地有名藥店雜貨店に於てす最寄にて御買求を乞ふ
京城本町二丁目(電話一九九番) 井口大藥房
京城大阪賣店 龜屋(本支店)
青木堂

廣告
前間恭作氏著
韓語通
定價壹圓五十錢
郵税十錢
今回貳千部に限り壹圓廿五錢にて販賣可致候間御注文の程奉希候
韓國京城本町五丁目
和洋金物商 釘本藤次郞本店
長電話四五番 電信略號(ク) 振替貯金口座韓國(二五六)

六月一日ヨリ
岐阜提灯賣出し
利益なし元價の
一張二十五錢

東京 足袋
本店 東京
京城大和町一丁目(日の出橋際)
大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

增築御披露
京城南大門通三丁目光宣門側(電話一三八二番)
御待合 紅葉
四方粹客樣方の御引立に預り手狹を感じ往々折角の御運びを御斷り申候等不本意千萬に有之候に付今般改築間數も增加殊に浴室の設備も致し何時にても用意罷在申候間不相變御柱駕の程奉希上候

京城相生町南門湯横(電話一一九四番)
自午前八時
至午後九時
●花柳病專門 附、痔疾一般
●入院隨意●
京城梅毒病院
院長 醫學得業士 蘆田耕平

明治廿年七月創立
東京火災運送海上保險株式會社
資本金一千萬圓●事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番
代理店 本町四 山口與服店 電話九番

和洋農具並ニ養蠶具器械一式
純良農產種子養成販賣○果樹、山林、庭園用苗木
觀賞用植物苗木類、肥料
京城東大門外纛島
興國農園種苗養成所
諸官衙御用達
京城本町一丁目六十五番戶
三輪商會
電話三八六番

紙と印刷
諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本
諸官衙御用
播本(ハリモト)商店
京城本町六丁目
電話百拾番

京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島專藏
(電話四百十二番)

移轉御披露
京城旭町一丁目小森材木店裏
御待合 住の家
電話六七六番
是迄の住の家は夏の待合としてチト鬱陶敷分けて日々に人目も繁き場所と相成候まゝ今度旭町一丁目小森材木店裏に新築の上移轉致し凡て夏向きに粹樣方の離坐敷亦は夕晴の四疊半と心をこめし設備ぶり一度御來遊の上相變らず御ヒイキを猶亦人目を忍ぶ君樣方の裏道傳へは元住の家本門通り右の小路を壅見質店前に出て右に御曲りの上裏門よりとあるじ白す

京城明治町二丁目(佛國教會前)
辯護士
特許辯理士
岩田仙宗
電話三五四番

營業科目
東京竹内製金庫
東京堀井謄寫版
喞筒並ニ消火器
手提金庫
器械的文房具
複寫紙及複寫簿
弊店ハ前記各品專門的ニ營業住候故ニ價格ハ槪テ內地同樣ニ物品ハ潤澤ニ取揃ヘ居候間御注文希上候 營業品目錄ハ御申越次第送呈仕候
京城本町一丁目
熊平支店
電話六二四番 振替貯金韓國二二番

金錢貸借 電話讓渡
土地家屋 老舖賣買
人事百般 其他
周旋業
京城明治町一丁目勸商場前(電話一二九八)
明治屋

●●●滋養と牛乳●●●
●●●衛生と消毒●●●
純良 牛乳
馬車配達
京城東四軒町
岡野牧塲
電話壹六九〇番

御料理
貸席
和樂園
高田家
△米倉町(電九三七番)
○○料理は萬事嗜れてかるにて高尚
○○閑內は至極閑靜にして別世界
○○土地高燥にして見晴し京城一
殊に大廣間設備も有之御集會宴會には精々便利に御用命に應候

ラムチ みかん水
金水舍製
例年の通り純良なるラムチみかん水製造販賣候間多少に不拘御愛飲を乞ふ
漢城製藥所
藥劑師 渡邊悦之輔
京城大和町二丁目

牛乳 荒井牧場

熊谷 易斷 驗推 齡爻 洋 鑑定
相敎授
京城本町五丁目
三一館
館主 土御門派大陰陽師
焦心罪志多年爲斯道於研微義奧旨恍然似有得者謹……

▲和洋 御料理
△各位の御引立を蒙り開店一年を過ぐ御陰を以て座敷を改め庭園を設け別に遠望の眺望あり
△調理はハイカラにあらず素人料理
△原料は新鮮にして却て別味あり
△客熱、凡べての御會合の會塲或は御婦人方御同伴の御清遊に適す
△御席料なぞは頂戴致さず
△仲居あり親切にして愛嬌あり御客樣の御命令は何なりとも奉ずべし
△儲けないで儲ける素人料理安いの飛び切り一度御柱駕下さい
一洋食 御一人前六皿 ビール一本付 代金六十錢
一和食會席 御一人前六品 酒二本付 代金六十錢
此外洋食は一品毎金廿錢和食は一皿金十五錢以上自慢の東京流てんぷら高等しることあり

たちばな
南大門通三丁目東北に入る、光宣門館向、明治町三丁目支那領事の西溝筋北に入る目標赤點燈

奧出洋服店
京城櫻井町五十七番ノ一(電話一二五五番)

營業科目
諸官衙御用
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食塩
諸染料類
委託販賣
東京ランバート商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
……合資會社……特約
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目(電話三〇二番)
出張所 東京新橋……

齒科治療
本町六丁目
ドクトル 中村安子
(版そば横町)電話一五八三

大 命 萬
特約販賣自製
味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
(電話二五一番)
ビール
新茶大賣出し

旅館
京城南山町三丁目
京城ホテル
電話長一二三番 四九二番
日本室和食
特等(三圓五十錢)
一等(二圓五十錢)
二等(二圓八十錢)
三等(一圓五十錢)

無比勉强
かや わた
吳服 太物 洋反
蒲團調進
京城明治町一丁目
唐川商店
電話二六一番
關戶蚊帳株式會社韓國代理店
新案特許製綿韓國一手特約店

高等旅館
平壤大和町
浪花館
電話一三四番